

Vol.9

みはま歴文だより

令和元年5月10日発行
◇編集・発行◇
美浜町歴史文化館

新元号とともに紙面もリニューアルしました!!

新しい時代、令和元年にちなんで「みはま歴文だより」もリニューアル。
今回は、昨年度1年間の活動報告を中心にお伝えします(^^)

土曜歴史文講座

平成三十年度は、座学や現地探訪、ワークショップなど計十回の講座を開講し、延べ一八七名の方にご参加いただきました。

現地探訪♪



‘みはま学芸員’ 養成塾



3名の講師による
トークセッション



美浜町歴史フォーラム

昨年度の歴史フォーラムは、十一月三日に美浜町健康福祉センター「はあとぴあ」のホールで開催し、六十名ほどの方が参加されました。今回は国史跡に指定された興道寺廃寺の景観をテーマに、五名の講師にご講演いただきました。



シンポジウム記録集⑬
「復元！興道寺廃寺をとりまく景色」絶賛販売中!

頒布価格 1200円

フォーラムと歴史講座第6回・第7回の内容が収録されています。



各種団体見学など

昨年度も、小学校の社会科授業での見学をはじめ、各種団体の見学や研修会などにご利用いただきました。また、夏休みには耳公民館行事に合わせて、親子で楽しめる勾玉作りのワークショップも開催しました。



研修会



6年生

小学生見学



ワークショップ 勾玉作り



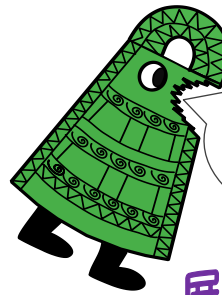
3年生

行事のお知らせ

■みはま土曜歴史文講座

- 5/19(日) 第1回 13:30~15:00
「トーハクに獅子塚古墳の須恵器を見に行こう！」
(開催中止)
- 5/25日(土) 第2回 13:30~15:00
「大宰府と梅花の宴」
- 6/15日(土) 第3回 10:00~11:30
「みはま、発掘調査でわかった万葉の時代」
- 6/29日(土) 第4回 13:30~15:00
「なるほど民俗学 夏の行事編」
- 7/6(土) 第5回 10:00~11:30
「美浜町の古文書についてV」

※詳しくはチラシをご覧ください(^)



展示の見どころや、展示品をご紹介します。

展示室のささやき

新元号「令和」の出典とされる『万葉集』は奈良時代に編さんされた日本最古の和歌集と言われています。興道寺廃寺跡や興道寺遺跡、沿岸部の製塩遺跡など、美浜町の代表的な遺跡は『万葉集』が編さんされた頃に営まれたものです。今回の「みはま発掘速報展 2019」では『万葉集』の世界と結びつけてこれらの遺跡をご紹介します。

天平の時代、万葉の時代と言えはるか昔の時代のように感じますが、これらの遺跡が新元号と同じように皆さんに馴染み深いものとなれば幸いです。



お問い合わせ

美浜町歴史文化館
〒919-1138
福井県三方郡美浜町河原市 8-8
TEL 0770(32)0027
FAX 0770(32)0615
E-mail
bunkazai@town.fukui-mihama.lg.jp

編集後記

当館の開館以来館長を務められた K 館長が異動となり、新しく S 館長が就任しました。新しい令和の時代とともに、当館もそしてこの「歴文だより」も心新たに良いものをお届けできたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(K.Y)